|  |
| --- |
| わ　ら　じ　物　語 |

○　浪　人　（親同士の決めた、上役の娘との結婚を嫌がり、好きであった商家の娘と　　　　　　　　　　　　　　　　　　駆け落ちし、浪人となり、いろいろな仕事を転々としていた。そして・・・）

1. わらじ作りを始めた。

ある日、店の番頭に呼ばれ、「丈夫過ぎる。数が売れなくて皆困っている。もっと弱く作ってください」といわれた。

彼は「そんなことはできません」と言って辞めた。

1. つらくて居酒屋に入り、酒を飲んでいると、店の主人が話を聞いてくれ、「あなたは

えらい。間違っていない。頑張りなさい」と言われた。

1. 彼は工事人夫となって働きに出た。まじめに働いていた。

ある日、人夫の一人に言われた。「俺たちと同じように、もう少しゆっくり休んでくれ。時間どおりやられちゃ迷惑だ」と。

1. 帰宅し、妻に話をした。

彼は、思い悩み、また村の長老に相談に行った。

長老は「そんな話は、もう聞きたくない」と言った。

５．彼が帰宅すると、妻の置き手紙があった。

「実家に行きます。信じております。愛しています」と。